

## 【中国株式市場ウィークリー】

日興アセットマネジメント

2018/3/5

## ■ 中国株式

指数	指数終値	前週比 (%)	1か月前比 (%)	3か月前比 (%)	6か月前比 (%)		
						2018/3/2	2018/2/23
中国	CSI300	4016.46	4071.09	-1.34%	-5.96%	0.46%	4.85%
	上海総合	3254.53	3289.02	-1.05%	-6.00%	-1.90%	-3.34%
	上海A	3408.60	3444.83	-1.05%	-6.00%	-1.89%	-3.34%
	深セン総合	1822.22	1775.17	2.65%	0.04%	-4.93%	-6.86%
	深センA	1905.48	1856.12	2.66%	0.04%	-4.96%	-6.88%
	創業板(ChiNext)	1772.01	1668.83	6.18%	4.09%	-1.81%	-5.00%
	SME-Chinext 100	1955.80	1905.34	2.65%	1.53%	-2.18%	0.78%
香港	ハンセン	30593.42	31267.17	-2.15%	-6.16%	5.23%	9.45%

## ■ 外国為替

通貨(対円)	東京仲値	前週比 (%)	1か月前比 (%)	3か月前比 (%)	6か月前比 (%)		
						2018/3/2	2018/2/23
中国	中国人民元	16.74	16.89	-0.89%	-3.85%	-1.88%	0.06%
香港	香港ドル	13.58	13.68	-0.73%	-3.00%	-5.96%	-3.28%

## ■ 「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」の上位10銘柄の推移

銘柄	株価(終値)		前週比 (%)	1か月前比 (%)	3か月前比 (%)	6か月前比 (%)
	2018/3/2	2018/2/23				
美的集団 (ミデア)	56.22	57.55	-2.31%	-6.14%	11.15%	37.66%
杭州海康威視数字技術 (ハイビジョン)	42.80	40.98	4.44%	6.49%	14.13%	29.93%
立訊精密工業 (ラックスシェア)	24.89	24.20	2.85%	9.31%	5.02%	16.31%
大族激光科技産業集団 (ハンズ・レーザー)	56.06	51.50	8.85%	12.03%	12.16%	44.37%
蘇寧雲商集団 (スニン・コマース)	12.73	12.19	4.43%	2.17%	6.00%	8.16%
浙江大華技術 (ダーファ)	28.34	26.51	6.90%	2.94%	15.67%	13.27%
三安光電 (サンアン・オプトエレクトロニクス)	25.29	24.12	4.85%	8.40%	-0.04%	30.56%
WEICHAI POWER (ウェイチャイ・パワー)	8.33	8.52	-2.23%	-7.44%	1.96%	14.90%
跨境通宝 (グローバル・トップ・E-コマース)	19.00	17.07	11.31%	10.72%	-2.61%	-3.55%
珠海格力電器 (グリー)	52.48	54.06	-2.92%	-5.42%	26.06%	37.71%

※上記ファンド上位10銘柄は、2018年1月31日現在

データ出所:ブルムバーグ

※上記銘柄については、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

## ■ 先週の中国株式市場

先週の中国A株市場は、上海総合指数が-1.05%と下落、深セン総合指数が+2.65%上昇、深セン創業板指数が+6.18%上昇するなど、株式指数の間で値動きが大きく離れた。上海総合指数は、構成比率が31%と最も高い金融セクターの下げが大きかったことが影響した。また、深セン市場では、テクノロジー系の中小型株への資金流入が強まったことから、深セン創業板指数のパフォーマンスが深セン総合指数を上回ったものである。一方、2017年12期決算の速報値の発表があり、予想を下回る銘柄が大きく売られるなど、決算を意識した取引も散見された。

26日(月)は主要株価指数が総じて上昇した。なかでも創業板は+3.6%と上昇率が最も高かった。政府が市場の安定化を図るため、A株上場登録制度改革を2020年まで延期すると発表したことが小型株への追い風となった。テクノロジー関連銘柄が全面的に上昇した一方で、不動産銘柄は下落した。

27日(火)は、まちなちの展開だった。6営業日連続で上昇した上海総合指数は反転下落した一方で、創業板は上昇した。特に値下がりが目立ったのは、不動産セクター。1級都市における不動産価格の下落が発表されたことや、河北省を除く多くの州で、モーゲージレートが引き上げられたことが悪材料となった。セメント、鉄鋼などもつれ安した。また、本日予想を大きく下回る決算を発表したキッチン家電メーカー、ロウバン(杭州老板電器)がストップ安となったことから、家電セクターも下落した。一方、テクノロジーセクターへの資金流入が続き、創業板の優良銘柄の株価は上昇した。

28日(水)は、大型株を中心に下落したことから、上海総合指数、深セン総合指数とも下落したが、創業板指数は3日続伸となった。国家統計局が発表した2月の製造業PMI(大手企業が中心)が50.3と6年ぶりの大幅低下となったことから、石炭、石油など市況産業が売られた。また、昨日ストップ安となったロウバンは、本日もストップ安となったほか、蒸留酒メーカーのYanghe(江蘇洋河酒廠)も4Q売上高が予想を下回ったことから、-7%と大きく売られるなど、決算数字を意識した動きが続いた。一方で、テクノロジーセクターへの資金流入が相変わらず続き、創業板指数の値上がりを支えている。

1日(木)は主要株価指数が総じて上昇したものの、引き続き中小型株が大型株をアウトパフォームする動きが続いた。上海総合指数が+0.55%上昇、深セン総合指数が+1.23%上昇だったが、創業板指数は+2.07%上昇した。中国証券監督管理委員会(CSRC)が、バイオテクノロジー、クラウドコンピューティング、AIなどのIPOを優先的にを行うように窓口指導を行ったことが伝えられ、TMT(テクノロジー、メディア、テレコム)セクターが全般的に買われた。また、本日財新伝媒が発表した製造業PMI(中小企業が中心)は51.6と上昇し、昨年8月以来の高水準となったことも、中小型株のサポート要因となった。一方、不動産、市況セクターは引き続き軟調であった。

2日(金)は、昨日の米国、欧州株式市場で大きく下落した流れを受けて、主要指数は下落した。トランプ大統領が、鉄鋼、アルミニウムの輸入に対して関税を課すことを表明したことから、米中間の貿易摩擦の激化への懸念が重しとなったと見られる。鉄鋼セクターの下げが目立った。また、本日は中小型株が利食い売りに押されたことから、昨日までの流れとは逆に、中小型株が大型株よりも、やや値下がり率が大きかった。

---

## <リスク情報>

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】